

鹿児島の昆虫 83 「国内外来種？オキナワイチモンジハムシ」

昆虫担当 中峯 浩司

近年、人の活動に伴って国外から日本へ侵入、定着する動植物、いわゆる外来種が増加しています。また、国内の別の地域から侵入、定着する国内外来種も問題となっています。しかし、多くの昆虫は翅をもち、自ら飛んで移動することができます。中には千 km 以上を移動する種類も知られています。自力で移動し分布を広げた場合は外来種とはみなされません。

オキナワイチモンジハムシは本来、奄美群島以南に分布するとされていたハムシ科の昆虫です。ところが最近、指宿市や鹿児島市でも確認されるようになりました。一方、県本土には以前から近縁種のイチモンジハムシが分布しています。

1 イチモンジハムシ



【分布】本州、四国、九州【体長】6.8-7.8mm

【特徴】背中は黒く、腹部のみが黄色

【生態】幼虫、成虫ともにイヌビワ・オオイタビ・オオバアコウなどの葉を食べる。

2 オキナワイチモンジハムシ



【分布】奄美以南【体長】7.0-8.8mm

【特徴】背中は青緑色の光沢をもち、腹面全体と脚の腿節が黄色

【生態】幼虫、成虫ともにジュマル・オオイタビ・ハマイヌビワなどの葉を食べる。

3 よく似た生態をもつ両種

両種ともクワ科イチジク属の植物を利用します。生活史も似ており、春から初夏に越冬した成虫が産卵し、夏から秋に次世代が出現して越冬に入ります。両種が同じ地域に生息するようになると、今後エサや越冬場所をめぐる競争が想定されます。

4 これまでの経緯

2009 年 3 月 20 日、指宿市でオキナワイチモンジハムシが初めて記録されました。その後も指宿市内各地で確認されています。侵入の経路は不明で、国内外来種に当たるかどうかは分かっていません。さらに、2024 年 4 月には鹿児島市谷山地区でも複数個体が確認され、分布の拡大が示唆されています。

5 イチモンジハムシの情報をお寄せください

実は、県本土におけるイチモンジハムシの記録は非常に少なく、現在も過去も分布の実態はよく分かっていません。普通種ゆえに注目されなかった可能性があります。

今後、オキナワイチモンジハムシの分布拡大に伴い、イチモンジハムシが競争に負けて減少する可能性も考えられます。イチモンジハムシまたはオキナワイチモンジハムシを見つけた際は、ぜひ博物館までお知らせください。皆さまからの情報が、鹿児島県の昆虫相を解明する手がかりになります。

<連絡先> 県立博物館 電話:099 - 223 - 6050
e-mail:kahaku1@pref.kagoshima.lg.jp